

一以貫之

平成30年度 敦賀気比高等学校 第2学年
学年通信 第7号 平成30年9月28日(金)

(いちいかんし) 「一を以って之を貫く」とも読みます。
孔子の『論語』にある言葉で「一つの思いを 曲げずに貫き通す」という意味です。
自分がこれと思ったことは、諦めずに最後まで頑張り通しましょう!

学園祭を終えて

学園祭お疲れ様でした。それぞれの持ち場で準備・運営にとり組む姿にはとても好感が持てました。このように学校行事にエネルギーを注ぐことは大変重要なことです。一生懸命と組んだ分、いい思い出と心の財産が作れたのではないのでしょうか。

さて、学園祭を終え授業が再開されています。気持ちを切り替え、学業に集中して下さい。また自分の進路を考える時間も引き続きしっかりとってほしいと思います。

明日からいよいよ福井国体開幕です。みんなで福井県選手を応援しましょう。



10月の行事予定

1日(月)	午前中(3限)授業 5日(金)まで
6日(土)	英検・1次試験
8日(月)	体育の日
9日(火)	生徒議会(放課後)
12日(金)	生徒総会(6限) 特進コース・科学探究(福井大学)~2限終了後 特進コース・科学探究(福井大学)
13日(土)	中間考査・時間割発表
15日(月)	中間考査1日目(考査のないクラスは3限授業)
22日(月)	中間考査2日目
23日(火)	中間考査3日目
24日(水)	中間考査4日目 NIE講座(保健委員)
25日(木)	土曜特別学習会(全校登校日)
27日(土)	秋季遠足研修
29日(月)	教養コース・基礎力診断テスト
30日(火)	

裏面参照



衣替え

10月12日(金)までは、冬服・夏服兼用期間です。
この期間は、次の3パターンが許可されています。

- ① 冬服(ブレザー・ネクタイ・リボン着用)
- ② 冬服でブレザーなし(ネクタイ・リボン着用)
冬服の場合は、ズボン、スカートからシャツを出さないようにしましょう
- ③ 夏服
夏服の場合は、次の点に注意しましょう。
・アンダーシャツの色は白のみ。
(ワンポイントのマーク等は可)
・アンダーシャツはズボン、スカートに入れる。
・ブレザーやカーディガンの着用は不可。

10月15日(月)以降は、冬服着用となります。

※ 体育時に着用する体操服については、10月1日(金)より一斉に冬用体操服着用です。
(冬服・夏服兼用期間は設けません)



進路を考えよう

第6回 あなたの将来を決めるもの(その2)



前回のこのコーナーでは、AIが活躍する社会とは、例えば産業革命の時期であったり、日本の明治維新の時期と同じ、「**変化の時代**」であるという話をしました。

そして、「変化の時代」となるべき行動の1つとして、「**動く**」という選択があり、具体的には、**自分自身で目標を立てて、その目標に向かって全力で突き進み、その道の7口になる**という生き方があるということを書きました。

しかし、誰もが明確な目的を持てるわけではないので、もう1つの行動として、「**動かない**」という選択があることを紹介しました。これは、**その時に必要とされることに機敏に対応する**ということであり、こうした行動をとるためには、**何を目的にして、何をすればよいのかを、自分自身で判断して行動する力を持つ**ことが大切です。

では、こうした力を持つためにはどうすればいいかということで、現代版の「読み・書き・ソロバン」の能力に注目し、**現代の「読み」とは「言語力」**であり、日本語の能力ばかりではなく、**英語の能力も身に付ける**必要があり、高校在学中に、**特進コースの人は英検2級を、進学コースの人は英検準2級を、教養コースの人は最低でも英検3級を取得**することを目指してほしいということを書きました。

さて、今回は、このつづきの話をしていきたいと思います。

「読み」の次は「書き」です。
現代の「書き」とは「説明力」であり、**自分自身を客観的に見る力**ではないかと思えます。

少し前の話ですが、SNSにとんでもない行動(例えば、冷蔵庫に入った様子や、警察官の前で白い粉の入った袋を落として逃げる様子)をアップすることで、世間を騒がせる事件がありました。このようなことを行った人は、その後、賠償金の支払いや、裁判に訴えられるなどの何らかの社会的制裁を受けたわけですが、こうしたことになる前に自分自身でブレーキをかけなかったのでしょうか。



テレビやSNSの発達は、時に自分自身をドラマか何かの登場人物と錯覚させてしまうことがあります。当然、良い方向に向かえばいいのですが、悪い方向に向かうことだってあります。このとき、**自分自身がどちらの方向に向かっているのかを客観的に見直すことができるかどうか**が、良いか悪いかの分かれ目になるのではないかと思います。

このような、自分自身を客観的に見つめ直し、理解することを「**メタ認知**」といいますが、その1つのやり方に、何をを行ったかを文章にするという方法があります。

「**わたしの行動を、いつ・どこで・だれが・どんな理由で・何を・どのようにしたかを文字**」することで、主観的な「わたし」を分離することができ、書いた文章を読むことによって、より冷静に自分自身を見つめ直せるからです。

さて最後に「ソロバン」についてです。
現代の「ソロバン」とは「計画力」であり、**成果を出すために必要な道筋を見つけ出す力**ではないかと思えます。

これは、筆者の考えですが、世の中が便利になることで、私たちは計画性をどんどん失っていると思えます。

大きな転換点として、**コンビニエンスストアの登場**があります。特に24時間営業の店ができることで、いつ何時でもほしいものが手に入れられるようになりました。筆者は、これを「**中期的計画力の喪失**」とよんでいます。

次なる転換点は、**ケータイやスマホの発達**です。みなさんも思い当たると思いますが、休みの日に友人と会う約束をしても、いつ・どこで待ち合わせるのかを決めないことが多いのではないのでしょうか。さらには、当日何をするか、会ってから決めることもあるのではないのでしょうか。筆者は、これを「**短期的計画力の喪失**」とよんでいます。



このようにして、私たちは知らず知らずのうちに「計画する力」を失っているのです。だからこそ、みなさんには、成功に向けた計画を立てる力を身に付けてほしいと思うのですが、そのためには、**日頃自分がどのようなことをしたのかを記録に残す**(例えば、日記を書く)ことが、次に計画を立てる参考にもなるので、一度やってみてください。